

令和5年度第1回ピアザ淡海あり方検討会議 議事概要

1 日 時 令和5年12月15日(金) 16:00~16:30

2 場 所 滋賀県庁北新館3階多目的室2

3 出席委員

滋賀県 : 江島宏治副知事

地方職員共済組合滋賀県支部 : 東勝副支部長(滋賀県総務部長)

滋賀県市町村職員共済組合 : 小椋正清理事長(東近江市長)

(公財)滋賀県市町村振興協会 : 小椋正清理事長(東近江市長)

4 議事

(1)ピアザ淡海のあり方検討の進め方について

5 議事内容

(1)ピアザ淡海のあり方検討の進め方について

資料1および2により事務局から説明し、議論の上、原案のとおり策定することに決定。

《主な意見》(・委員意見、事務局回答→)

- ・ 老朽化対策経費が今後10年間でこのままいくと約65億円という試算が出ているが、今後、経費が特にかかってくる時期はいつ頃か。また、公共機能の整理等を進め、それを踏まえてサウンディング市場調査を実施する流れかと思うが、具体的にどのように進めるのか。
 - 老朽化対策の主なものは、設備の老朽化に対応する必要があるもので、その設備は、現段階でかなり老朽化が進んでいる状況のものもあり、今後10年のうちでも比較的早い時期に必要なになってくると思われる。また、サウンディング市場調査の方式については、国土交通省が実施するサウンディング市場調査のプラットフォームを活用し、令和6年4月頃にエントリーして、7月頃から実施することを考えている。
- ・ サウンディング市場調査に入る前には公共機能の整理等をして方向性を示さないといけないと思うが、その検討はどういった状況か。
 - 本日の会議でピアザ淡海のあり方検討の進め方について合意をいただいた後、各構成施設に公共機能の規模や機能の整理について、正式に依頼をさせていただく。年度末を目途にその内容を取りまとめ、来年度サウンディング市場調査を実施する時には、民間事業者へ明確にお示しする必要があると考えている。
- ・ 事業手法で売却や区分所有など、色んな手法が出ているが、指定管理による手法は視野

に入れないのか。

→ 先ほど、ホテルについて委託することを基本に考えている旨を御説明したが、その中で指定管理についての検討も含まれると思う。

・ パスポートセンターをどうするのか方針が決まっているのであれば、「ピアザ淡海のあり方検討の進め方」に記載することはできないのか。

→ パスポートセンターは、令和9年の春に医療福祉拠点の中に移転予定と聞いており、「ピアザ淡海のあり方検討の進め方」P6からP7の箇所に記載をしている。

・ 前回はサウンディング市場調査を実施していて、今回もサウンディング市場調査を実施するとのことであるが、どこに違いがあるか。

→ 令和3年度に実施したサウンディング市場調査では、公共が所有することを前提に現行施設の一体的な維持管理運営について提案を求めたが、今回は、より民間事業者の自由度を高めて、公共の所有に捉われない形で意見を求める点に違いがある。

・ 2つの事業手法について一括してサウンディング市場調査を実施するのか。また、公的な施設機能整理を前提にサウンディング市場調査を実施するとのことであるが、提案によっては、もう少し違う形であれば可能性があるとか、そういった提案も受け入れることは可能か。

→ 国土交通省のサウンディング市場調査のプラットフォームは、7月の次は11月に開催予定で時期的に遅く、「ピアザ淡海のあり方方針」のとりまとめが遅れてしまうので、7月に一括してサウンディング市場調査を実施することを考えている。また、提案の求め方については、少し幅広な形で、より多くの提案をいただけるようにしたい。

・ 長く検討してきている経過もあり、方向性を気にされている方も多くいるかと思う。老朽化対策経費も近くかかってくるという状況もあるので、早めに方向性を定められるよう、柔軟に提案を募れるような形で進めていただければと思うので、この検討の進め方で進めていただければと思う。

・ コロナ禍で検討は進んでいなかったが、地に足がついた形で前に進むのかなと思う。後はサウンディング市場調査に期待する。ピアザ淡海には職員研修センターもあり、地方公務員にとって研修は大事な分野で結構活用していると聞く。問題は大きなホールや大会議室の稼働率が少し低いことで、よい立地にあるのでPRを効果的にすることで非常に有効な施設になると思う。そういう意味でプロの話や情報を得てうまく稼働していただければと思う。